

U.S. Indicators

米国 減速も堅調さを維持する小売売上高(15年8月小売売上高)

発表日：2015年9月15日(火)

～コア小売の拡大モメンタムは強いまま～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高		耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
	▲	(+)	除く車	自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン		
15/01	▲0.8	(+3.7)	▲1.1	+0.6	+0.6	▲0.3	▲0.4	▲1.6	▲1.0	▲9.9
15/02	▲0.5	(+1.9)	▲0.1	▲2.0	▲2.2	▲1.4	▲1.6	+0.1	+0.3	+2.5
15/03	+1.5	(+2.1)	+1.0	+3.0	+3.5	+2.4	▲0.3	+0.9	+1.1	+1.1
15/04	+0.0	(+1.3)	▲0.1	+0.1	+0.6	+0.7	+0.3	▲0.2	+0.2	▲0.9
15/05	+1.2	(+2.5)	+1.0	+1.4	+1.9	+1.6	▲0.5	+1.3	+1.9	+3.9
15/06	▲0.0	(+1.8)	+0.4	▲1.1	▲1.6	▲1.0	+0.9	+0.5	▲0.9	+1.2
15/07	+0.7	(+2.6)	+0.6	+1.2	+1.3	+0.8	▲0.9	+0.5	+0.6	▲0.6
15/08	+0.2	(+2.2)	+0.1	+0.0	+0.7	▲0.9	+0.2	+0.2	+0.4	▲1.8

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比(未季調)。

*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

8月小売・飲食サービス売上高は前月比+0.2%、コア小売売上高は同+0.5%と減速

15年8月の小売・飲食サービス売上高は、ガソリン、家具、建設資材の減少などにより、前月比+0.2%（前月同+0.7%）と減速した。市場予想中央値の同+0.3%を下回ったが、6、7月合計で0.1%上方修正されたことを考慮すれば、市場予想どおりの内容。内訳を見ると、家電が増加に転じたほか、食品・飲料、薬局、百貨店など一般小売、飲食店が加速した。一方で、家具、建設資材が減少に転じたほか、価格下落の影響でガソリンスタンドが減少幅を拡大し、自動車・同部品（前月比+0.7%）、衣料品、スポーツ用品・本・趣味用品、その他小売、7月にセールで押し上げられた通信販売（前月比+0.2%）が鈍化した。

変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.1%（前月同+0.6%）と市場予想+0.2%を下回ったが、6、7月合計で0.2%上方修正されており、概ね市場予想通りの結果。家具、建設資材が減少に転じたほか、ガソリンスタンドが減少幅を拡大した。

小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、前月比+0.5%（前月同+0.6%）と高い伸びを維持した。家具が減少に転じたほか、衣料品、スポーツ用品・本・趣味用品、通信販売、その他小売が鈍化した。なお、7-9月期の実質個人消費は、前期比年率+2.7%（4-6月期は同+3.1%）と堅調さを維持すると予想される。

以上のように、8月の小売売上高は7月の高い伸びの反動やガソリン価格の下落などによって前月比で鈍化した。コア小売の高い伸びを背景に、堅調さを維持していると判断される。小売売上高は、2月以降高い伸びと鈍化を繰り返しているが、雇用・所得の緩やかな拡大、借入基準の緩和、良好な金融情勢など家計取り巻く環境の改善を背景に、拡大基調を維持している。

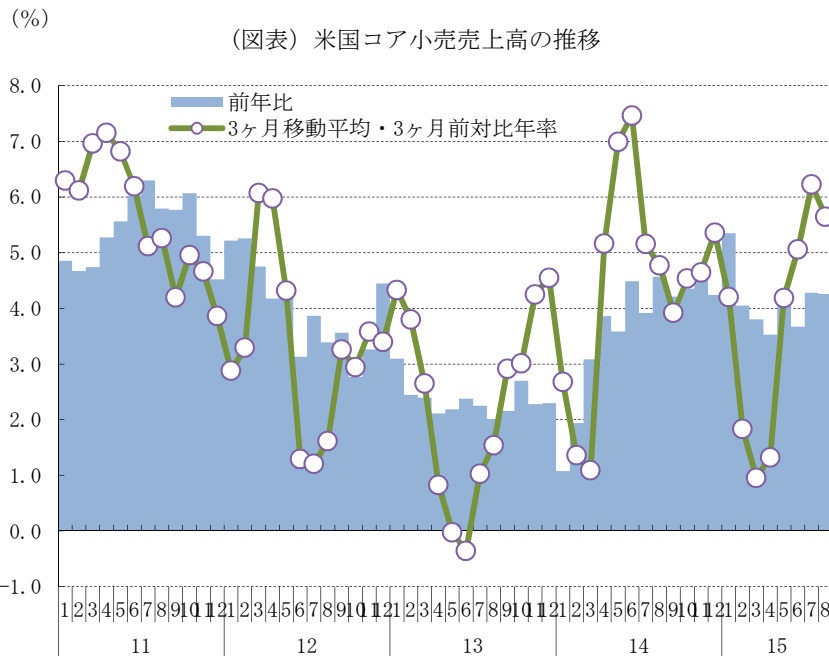
**8月の小売・飲食サービス売上高では自動車
が最大の押し上げ**

8月小売売上高の前月比（+0.19%）の寄与度をみると、プラス寄与の業態では、自動車・同部品が+0.14%と最大の押し上げ寄与となった。他では寄与度の大きい順に、食品・飲料が+0.09%、飲食店が+0.08%、薬局が+0.05%、百貨店を含む一般小売が+0.05%、衣料品が+0.02%、その他小売りが+0.02%、通信販売が+0.02%、スポーツ用品・本・趣味用品が+0.01%と続いた。一方、マイナス寄与の業態ではガソリンスタンドが▲0.15%と最大の押し下げ寄与となり、次いで建設資材が▲0.11%、家具が▲0.02%となった。家電は0.00%。

**コア小売売上高は、3
ヵ月移動平均・3ヵ月
前対比年率+5.6%と
堅調維持**

小売売上高のモメンタム（3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率）をみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、ガソリン売上の減少等により+5.7%（前月+7.0%）と鈍化したが、高い伸びを維持した。

また、小売売上高の基調を示すコア小売売上高（自動車・ガソリン・建設資材を除く小売・飲食サービス売上高）は、通信販売などの高い伸びを背景に+5.6%（前月+6.2%）と堅調さを保った。



(出所) 米商務省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。